
Onlookerの眩き

新奈美咲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Onlookerの眩き

【Nコード】

N5340N

【作者名】

新奈美咲

【あらすじ】

”日本人の尊厳”番外編。異世界に来た平凡な女子高生の様子を異世界の住人視点で綴ります。

1 ある侍女の日記より

清々しい晴天

わたくしは爽やかな朝の日の出と共に仕事を始めます。厨房では今や一人となった料理長が朝食を作っていることでしょう。

わたくしはいつものように奥様を起こしに行きました。本日は王都でお勤めを終えられたばかりの旦那様もご一緒のはずです。

しかし、私は目的の部屋に奥様とは違つうら若き女性の声を耳にしたのでございます！！

なんたることでしょう！

いいえ、奥様！旦那様に限って決してそのようなことはありません！このシュリーめが証明してみせましょう！

ガチャリ！

そう、まさしくその瞬間、わたくしは愕然としたのでございます！

思い出すだけで興奮してまいりましたわ！

【少々お待ち下さい】

申し訳ありません。奥様と三人でいらしたので新たな境地を開いたのかもだなんて恐れ多いこと思っておりますわ。ええ、もちろん

です。

お嬢様は遠い地から旦那様が連れてこられたそうです。全く、私の心臓を止めるもくろみかと勘違いしてしまう所でしたわ。

お嬢様は少し、そう、刺激的な服を着ていらしたんですけれど、故郷ではそれが普通であるとおっしゃっていました。

雲が7割。これは晴れですわね。

この服とお嬢様のお持ちになっていた靴はお嬢様自ら管理され、故郷のお話と共に嚴重に仕舞われました。ええ、いくら旦那様や奥様がお聞きになっても故郷のことを話されることはありませんでした。

3

本日は雨

お嬢様から下着についてのご相談がありました。

”ごむ”なるものがないと知ると非常に落胆されたご様子でしたが、布と糸を提供すると鬼気迫る勢いで縫い始められました。

初めはぎこちなく、何度となく針を指に突き刺していらしていましたが、次の日には王宮お抱えの針子に勝るとも劣らない腕になっていらっしかったです。

次の布をお渡しする際に塗り薬と包帯を差し入れました。

クソ暑……コホン、快晴

今日、アキ様が学士院に向かわれる。

女性はほとんどいないと言いますが大丈夫でしょうか？

庭師兼御者のトマスにくれぐれもお嬢様が快適に過ごするための配慮をするように言っておきますわ。

とある使用人の独り言

本日は清清しい晴天に恵まれ、馬たちも喜んでおります。もう年であるのですがよく働いてくれますので私も感無量でございます。

これから四日間王都までお嬢様をお送りいたしますが、どうも私はなかなか気の利かないようで、シュリーにすっかり釘を刺されてしまいました。

外で見るものすべてが珍しいようできよろきよろと夢中で外を見る様子はさながら小動物のようでありました。

お嬢様は自作であるう小さなモチーフの刺繍の頭巾を被った婦人をまじまじ眺めて、こうおっしゃいました。

『ばんだなですね。流行ってるんですか？』

最近の若者はあれをばんだなと呼ぶのでしょうか。私は非常に疑問でありましたが、この手のことはもう慣れっこになりましたので、代名詞を使つてごまかしました。

お嬢様は何かとお礼を言います。普通の貴族のようなものではなくそれはそれは丁寧な言葉遣いでお礼を言うのです。

はじめは使用人一同戸惑っておりましたが、お嬢様はなかなか譲りませんでした。理由をお尋ねしたところ

『ニホンジンとしてですね、うん。えーまあ、習慣と言いますかね、習性というか癖と言うか、とにかく気が済まないんですよね』

とおっしゃいました。ニハンジンが何かは気になりますがとりあえずどうしようもないと言うかともかくなれる以外に道はないと拝察いたしました。

また、気を楽しにお話くださいと申しましたところ、われわれが敬語なのでつられてしかも一ヶ月近くその状態が続いて癖になったとおっしゃいました。つまるところ何も考えていないと気付けば敬語で話しているようです。

そして直すのも面倒だと言うことでしょうか。

はっ、考え事をしていたらお嬢様に（シュリー激選の）間食をお持ちするのを忘れていました。

明日からは忘れないように気を付けます。

入学案内

我が国と、我らが母なる大陸にとこしえの栄華を。

新入生の皆様、この度は本学士院に入学のこと、感謝と祝辞の弁が尽きません。武芸科、研究科、普通科合わせて106名の力で、この国の輝かしい将来を築くことが出来るようになることを切に願っております。

さて、入学式の前に、当日の流れと本学士院についての簡単な説明をさせていただきます。

1．本学士院の目的について

本学士院は次世代を担う若者の育成に力を注いでおります。初等学園、または家庭で基本的な知識を学ばれた皆様に、より高次元にいたるための手助けをするための機関です。

(普通科は最初の一学期間に初等教育の復習が組み込まれています)

2．一年の流れ

風学期から女神の祝日と雨季休み、雨学期の後に涼気休み、陽学期、最後2ヶ月の新学年準備期間を経て一年が終了します。

これから始まる風学期には約一週間に渡る創立記念祭があります。行事とスケジュール詳細については別紙をご覧ください。

3．入学式当日の流れ

1) 午前9時に中庭に集合。

2) 集まり次第入学式練習開始。プログラムは当日配布します。

3) 午前9時30分、入学式開始。

4) 午前11時半、終了。1時間の食事休憩に構内の食堂で
昼食を摂ること。(弁当可)

5) 午前12時半、各クラスにて、担当教員の説明を聞き、
級長を紹介。終わりしだい帰宅。

以上です。

始業日は昼食を摂って1時に教室へ向かってください。上級生の研
究、修練を見学があります。

皆さんの学生生活が素晴らしいものになることをお祈りします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5340n/>

Onlookerの呟き

2010年11月20日10時44分発行